

＜地域ネットワーク部会：平成25年度事業計画の評価＞

1. 八重山・宮古・久米島・北部ではがん診療を行っている医療機関に、院内がん登録を用いて「症例区分（自施設診断のみ、自施設診断・自施設治療、他施設診断・自施設治療など）」を集計し、診療実態を明らかにする。

目 標：2012年3月までに院内がん登録データを収集し、院内がん登録データを用いて症例区分を集計する。

実 績：支援病院で院内がん登録業務が始まったばかりのため、次年度調査を行う。

評 価：1点

次年度：次年度調査を行う。
2. 沖縄県の医療施設の実態を把握するため、2012年沖縄県が行った「沖縄県医療機能調査」の結果を公表するよう働きかける。

目 標：沖縄県医療機能調査の結果を地域連携パスの運用に活用する。

実 績：沖縄県に医療機能調査の結果公開における要望書を提出したが、沖縄県医務課の意向で公開はまだされていない。

評 価：1点

次年度：県や協議会のHPに情報を公開するよう、沖縄県医務課に働きかける。
3. がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。

目 標：2014年3月までに5回、院内又は一般向けに研修会を行う

実 績：特定非営利活動法人よりよい地域医療を応援する会と共催で、1/11に一般向けに、研修会を開催した。

評 価：5点

次年度：次年度は一般向け、かかりつけ施設、院内で研修会を行う。
4. 私のカルテの充実を図る。

目 標：2014年3月までにA5、A4の2パターンを作成し、配布及びHPに公開する

実 績：A5のパターンを作成した。

評 価：5点

次年度：A5パターンを院内で試し運用し、HPに掲載する。
5. 胃がんと大腸がんの化学療法のパスを作成し、連携する施設に対し、研修会を行う。

目 標：2013年6月までに化学療法のパスを作成し、2014年3月までに研修会を行う

実 績：未実施

評 価：0点

次年度：2015年6月までに5. 胃がんと大腸がんの化学療法のパスを作成する。
6. 子宮がん地域連携パスを作成する

目 標：2014年3月までに子宮がん地域連携パスを作成し、運用する。

実 績：未実施

評 価：0点
7. 肺がん地域連携パスの運用、改訂、評価 各施設の運用強化を行う

目 標：2014年3月までに10人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する

実績：3拠点病院合計で5人適用した。
評価：5点
次年度：パスのフォーマットの見直し、パスの運用強化。

8. 胃がん地域連携パスの運用、改訂、評価各施設の運用強化を行う

目標：2014年3月までに30人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する
実績：3拠点病院合計で17人適用した。
評価：6点
次年度：パスのフォーマットの見直し、パスの運用強化。

9. 肝がん地域連携パスの運用、改訂、評価 各施設の運用強化を行う

目標：2014年3月までに10人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する
実績：3拠点病院合計で3人適用した。
評価：3点
次年度：パスのフォーマットの見直し、パスの運用強化。

10. 大腸がん地域連携パスの運用、改訂、評価 各施設の運用強化を行う

目標：2014年3月までに50人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する
実績：3拠点病院合計で41人適用した。
評価：8点
次年度：パスの適用数の増加させること、パスの改訂を行う。

11. 乳がん地域連携パスの運用、改訂、評価 各施設の運用強化を行う

目標：2014年3月までに100人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する
実績：3拠点病院合計で94人適用した。
評価：9点
次年度：パスのフォーマットの見直し、パスの運用強化。

12. 前立腺がん地域連携パスの運用、改訂、評価 各施設の運用強化を行う

目標：2014年3月までに30人、沖縄県内でがん地域連携クリティカルパスを適用する
実績：3拠点病院合計で4人適用した。
評価：1点
次年度：術後フォロー以外のパスを作成し、かかりつけ施設向けに研修会を行う。

13. 小児がんおよび希少がんWGを設置する

目標：2013年11月までにWGで小児がんおよび希少がんの医療連携について検討を開始する
実績：未実施。
評価：0点
次年度：2015年3月までにWGで小児がんおよび希少がんの医療連携について検討を開始する

14. 地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する

目標：毎年、部会委員が発表する2014年3月までに論文を作成する
実績：未実施
評価：0点
次年度：次年度は、学会活動を強化し他県の情報収集を行う